

夏祭り

アクアバレンシア

たくさんの笑顔の花が咲いた夏祭りの司会をさせていただきました。今年のテーマは「お金の計算」自分でお店の人にお金を支払いおつりを頂いてからゲームがスタートします。事前にたくさんのトレーニングやリハーサルにも取り組み、楽しみながら療育の幹を学べるレクリエーションには個々の無限の可能性を開くヒントがあるのかもしれない。利用者様と共に日々のスモールステップで成長していきたいと思えます。

支援員 谷本 純子

オレンジミント

夏祭りを開催しました。当日はお祭り気分が味わえるよう BGM を流し、事前に皆作った装飾品でフロア全体を彩りました。日頃の療育の成果がゲームの中でも発揮され、皆で練習したかけ声を楽しんでいる姿も見ることができました。また普段拒否の多い利用者様が全てのゲームに参加されている光景に支援員一同ひと安心でした。

来年もより一層成長した姿がみれるよう日々サポートしていきたいと思えます。 主任 小松 愛

イエロー・ブルー・パープル

8月22日に、Wel くれよんでは夏祭りを行いました。各部屋を巡り様々なゲームの屋台で盛り上がった後は、全員で集まって盆踊り。全員が揃って踊るのはこの日が初めてでしたが、日々練習を重ねられたことが一目で分かる、素晴らしい踊りを披露してくださいました！

最後はかき氷を食べて夏祭り終了。皆様の生き生きとされた表情と、練習の成果を発揮されるお姿に、支援員もたくさんの元気を頂いた一日でした。

支援員 木村 恵

ゴールド・プラチナ・パール

各部屋で用意した屋台をめぐって夏祭りを楽しみました。おつりの計算や、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」の声掛けなど、日頃見聞きする“店員”のロールプレイに挑戦！おつりは何円だろう、何て声をかければ良いだろうと悩みながらも、しっかりとお客様の様子を見て取り組んでくださいました。来年はより一層自信を持って取り組めるように、日々の支援に努めてまいります。

支援員 藤本 綾乃



くれよん方式

理事長 中山 一

「支援員が利用者様に対応する」のではなく、「支援員がはたらきかけて利用者様に対応していただく」、つまり常にこちらから先に声をかけ、話しかけさせていただくことが大切です。もちろん、利用者様から話しかけられたの、動きがあったりしたときはていねいに対応させていただきますが、常に何でもないことから話しかけ、当たり前のことを称賛していると、発作を起こしやすい方には意識レベルを上げて発作を防ぐ効果があり、そうでない方には「いつも見てますよ」と関心をもっていることを示すことができます。常に利用者様を意識し、向き合うことができます。

「寄り添う」とよく言いますが、好きにさせてあげて干渉せず、後ろから言葉をかけるという行動になりがちです。くれよん方式では「先に声をかけて反応を見、良い反応をしてもらえるように声かけを工夫していく」ことを寄り添うと考えています。

続きは次回に…

YouTube チャンネルも随時更新中！ →

